

令和6年度 第9回函館市医療・介護連携多職種研修会
アンケート集計結果

n=103（回収率44.4%）
研修参加人数：232名

1. 所属エリアをお聞かせください。

・函館市	83	(80.6%)
・北斗市	9	(8.7%)
・七飯町	8	(7.8%)
・その他	2	(1.9%)
・未回答	1	(1.0%)
計		103 (100.0%)

2. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	34	(33.0%)
・介護機関	62	(60.2%)
・教育機関	1	(1.0%)
・その他	5	(4.9%)
・未回答	1	(1.0%)
計		103 (100.0%)

3. 職種をお聞かせください。

・医師	3	(2.9%)
・歯科医師	1	(1.0%)
・薬剤師	6	(5.8%)
・保健師	4	(3.9%)
・看護師	22	(21.4%)
・ケアマネジャー	25	(24.3%)
・相談員	10	(9.7%)
・介護職員	17	(16.5%)
・歯科衛生士	1	(1.0%)
・栄養士	2	(1.9%)
・リハビリスタッフ	0	(0.0%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	3	(2.9%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	2	(1.9%)
・教員	0	(0.0%)
・学生	1	(1.0%)
・その他	5	(4.9%)
・未回答	1	(1.0%)
計		103 (100.0%)

3. 今回のテーマはいかがでしたか？

・よかった	102	(99.0%)
・どちらともいえない	0	(0.0%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・未回答	1	(1.0%)
計	103	(100.0%)

【今回のテーマ(内容)はいかがでしたか？】

【医療機関】

<医師>

- ・ 有意義なテーマでした。グループワークも良かったです。
- ・ ACPの実践という観点で学ぶことが多かったです。

<歯科医師>

- ・ 初参加になりますので、日頃在宅訪問診療や介護施設の往診などの際に、患者さんや入所者さんへの対応の仕方を、ある一定の基準を定めて話が出来た事を、マニュアルに沿いながら学べた事が非常に役にたてたと思います。
- ・ 南渡島介護認定審査員を長年やりながら、訪問診療を行っておりますので、患者さんとのコミュニケーションツールとして非常に役に立つと思います。

<薬剤師>

- ・ もしもノートを一人で一から順番に書くのは非常に難しいなと思いました。やはり、日頃からコツコツと少しずつでも準備を行い、いざこぞというタイミングを逃さずに傾聴していきたいと思いました。もしもノートの改良・普及を願います。
- ・ 考えたことのないテーマだった。居宅療養報告書に書ける話もあるかもしれない。
- ・ 多職種連携が始まったばかりと思ってしまいます。実際はどうしても薬局で働いている身としては患者さん又は薬を取りに来られた介護士さんからしか情報が得られませんが、多職種の方とこうやって意見を交わす機会がこれからもたくさん増えたらと思います。
- ・ 自ら、もしもノートに記載する事で今後の患者との接し方、考え方など再考する事ができ、更に他の職種の方々の意見を聞く事で多角的視野を学ぶ事ができた。
- ・ 多職種みなさんとディスカッションできたこと。そして楽しいです。
- ・ グループワークの際、黒ペン、赤ペンそれぞれ1本ずつありましたが足りませんでした。せめて黒ペンは2本以上あったほうが良いと思います。次回の函館市医療・介護連携多職種研修会も出席したいです。本日はありがとうございました。
- ・ おもしろかったです。

<看護師>

- ・ 日々、仕事としては大切と思いながら、自分事として考えることの大切さを感じました。現場のスタッフと考えるツールとして、もしもノートを話題にしたり、研修の場で照合したいと思います。
- ・ 今年の9月から往診・訪問看護担当になり、施設や自宅に居る患者様やそのご家族、施設スタッフと関わる機会が増えたので、本日の研修会は聴講のみではありますが、とても勉強になりました。
- ・ 現場でのACP確認の状況や患者さん、家族さんを取りまくスタッフの思いを聞くことができてよかった。
- ・ 多職種でいろいろな話ができて参考になった。
- ・ ACPについて学ぶ機会がなかったため。
- ・ ACPの本来の意味について改めて学び確認することができました。日頃の看護では、患者対応でご本人意志とご家族の意志の相違があり困惑することもあります。あくまでもその時々条件に合わせてその都度考えることが重要かと思いました。人がどう生きたいかの思いは変わるものだから。
- ・ 地域全体に推進していかなければならない取り組みであるため。
- ・ 今の職場で切り離せない課題だからです。
- ・ 本当のACPIについて学ぶことが出来たので有意義な研修でした。
- ・ ACPについてはもっと医師が参加できる研修があると良いです。(医師とグループワークしたい)
- ・ とても勉強になりました。多職種の皆様とディスカッションし、学びを深めることが出来ました。また、よろしくお願いします。

<相談員>

- ・一機関だけでACPを完結するのは難しい。場面場面で関わった専門職が寄り添い繋げていくことが大切。ACPは非常に良いテーマだったと思います。
- ・是非、自分の職場で活用できるように伝えたいと思います。
- ・ACPに対して他機関がどのように考えていたかや悩み、関わり方を共有できてよかった。ACPを自分事で考える大切さがわかりました。
- ・多職種の立場からの意見が聞けて良かった。同じことで悩んでいることの共有ができた。明日からできることについてグループワーク、登壇者3名様の発表をアドバイスとしていきます。
- ・もしもノートというものがあることを存じ上げていなかったのですが、今回の研修を機に学ぶことが出来ました。ありがとうございます。また、グループワークでも他職種とのお話、意見交換ができ、なるほどなと思うところが多くありました。

<鍼灸・マッサージ師>

- ・まず身内からACPについて話す機会を持っていきたいと思います。
- ・もしもノートはこだては非常に有効なツールで知る事が出来て良かった。
- ・とてもためになりました。明日から実行していきます。ありがとうございました。

<栄養士>

- ・ACPについて大変勉強になりました。
- ・もしもノートの存在を知れて良かった。ACPについて関わる時、自分事として考えて携わっていきたいと感じた。後悔のないように生きていこうと感じました。

【介護機関】

<ケアマネジャー>

- ・多職種の方と顔を合わせることができ、様々な意見が聞けて良かった。
- ・新しい知識を学べてとても良かったです。
- ・人に聞きにくいことを聞くことができるようになるかも。保坂さんの話しが良かったです。
- ・ケアマネとして、初回面談時に変わっても良いから今の時点では、将来どこで暮らしたい？と聞きやすい世の中になったと思います。
- ・ACPは必要な考え方だったと思っていたので、これをきっかけに進んでいってほしいと感じました。
- ・もしもノートやサイ五郎さんは活用したい。
- ・ACPについて考えさせられました。
- ・個人ワークで自分の事を書き出す事ができて良かったです。
- ・ACPの重要さと聞き取り方も参考にしたいです。課題もさらに再確認できたため。
- ・全体のバランスが良く、楽しんで学べたから。
- ・独居身寄りなし高齢者が増加していくなかで、ケアマネジャーがご本人の想いを繋ぐ立場になる可能性が今後益々あるだろうと考えており、ACPについての正しい理解が必要だと考えているため。
- ・今回、貴重な学びをありがとうございました。
- ・聴講席があり、希望できたので良かった。
- ・対面の研修は良いですね。画面の中で知り合っても困った時に電話するような関係にはなりませんし。
- ・準備等お疲れ様でした。
- ・いつもありがとうございます。

<相談員>

- ・グループワークにより、より細かな見解にふれることが出来た。専門性はアプローチの方法論の違いが表れるものであり、目指す所は同じです。多職種で議論できたことをとても有意義であったと感じる。
- ・ACPを全く意識していなかった事に気がついた。DNARについて看取りだから～というフレーズをよく聞くため、施設の医療と再確認のグループワークを行なうと決めました。
- ・普段働いている管轄が高齢者分野なので、医療サイドから見る終末期のお話を聞けて色々発見がありました。
- ・お疲れ様でした。
- ・様々な職種の方が沢山集まり、ACPについて講演を聞いたりグループで意見交換できて良かったです。函館には素晴らしい方がいっぱいいると思いました。
- ・函館の人口減少、介護人材不足、問題がありますが、このような研修を行っている函館をアピールして市に補助などをしてもらい、介護・福祉・医療人材が函館に移住して人口の減少を少しでも緩やかにできれば良いと思いました。

<介護職員>

- ・職場でACPIについて考える機会が多いです。まずはACPとはを理解し携わる事が大事だと思いましたので参加でき良かったです。先生方の話やグループワーク…どれも貴重で明日からまた実践し取り組んでいきたいです。
- ・ACPIについてより深く考える機会ができたのでとても良かったです。もしもノートの活用や利用者様に対して日頃の関わり方、その人から会話を引き出すことの大切さを考え直すことができました。
- ・利用者様(施設)や自分にも活用して、もしもの時に備えたいと思いました。
- ・初めて聞く言葉が多かったが、分かりやすくて良かった。
- ・もしもノートはこだてにに関して知る事ができました。今後に少しでも業務の中で活かしていきたいと思いました。
- ・ACPの勉強をして、自分ごととして考えることの大切さと難しさを知りました。自分がしっかりと勉強していくことが大事だと感じました。
- ・気づきが多くとても参考になったので。
- ・ACPの研修は今回初めて参加しました。とても参考になりました。
- ・ACPの内容指示について、今までは漠然とした考えしかなかったが、詳しく知ることが出来てよかった。今後は自分自身も含め利用者様と話す時にどのようにアンテナを張ればいいのかを知る機会が持てて良かったと思います。
- ・ACPや地域連携について、知ることができた為。
- ・ACPの考え方、引き出し方、自分事として考えること、もしもノート等についてグループワークをとおして活発な議論ができ、色んな捉え方があることも知れたので有意義な時間となりました。利用者様含めご家族や支援者さん、自分や自分の家族ともっと話をしたいなと思いました。研修を活かせるように日々暮らしていきたいと思います。
- ・学ぶ事が沢山あり、いつも研修会を楽しみにしています。準備等色々といつも大変かと思いますが…次回もぜひまた参加したいです。
- ・もしもノートで利用者様などに聞き取りが難しい。
- ・もしもノートの、リアルな事例を見たいです。
- ・他職種の方のお話や意見を聞く事ができて良かったです。
- ・今後も機会があれば、参加させて頂きたいと考えています。ありがとうございました。

<保健師>

- ・ACP≠DNARではないこと、常に思い、意志は変化すること、変化してもよいことを再確認できた。その為に多職種連携が重要。家族に話せないことが沢山あること、専門職として中立な立場で本人、家族に寄り添うことの大切さを学んだ。
- ・ツールを開発した側の方の話をきけたり、事例を通して自分ごととして考えられたのが勉強になりました。

<看護師>

- ・いろんな場面で多職種が連携出来ていければ輪が広がっていけると思いました。今後も人々に寄り添って仕事が出来よう頑張りたいと感じました。
- ・もしもノートを念頭に置き、どのステップからも会話に落とし込み対象者に寄り添いたい。
- ・ACP、DNAR等にくわしく知れてとても分かりやすかった。
- ・職員はみんなでももしもノート、勉強しています。利用しています。大変良かったです。自分でももしもノートやってみます。
- ・本人、家族の思いのとらえ方が勉強になりました。
- ・ACPIに取り組んでおり、タイムリーだったから
- ・有意義な研修会でした。ありがとうございました。
- ・ACPIについて詳しく知らなかった。
- ・他職種の方の考え方、想いを聞けた。また、自身の今後の心の持ち方や利用者、家族との関わり方をどうして行くか考え、行動の仕方を学ぶ事、気づきが沢山あった。

<施設長>

- ・施設でもACPについて取り組んでいきたいと思っていたので、本日の研修はとても参考になり勉強になりました。ありがとうございました。

<管理者>

- ・ACPという非常に関心のあるテーマだったから。
- ・関係者の皆様お疲れ様でした。ご準備大変だったと思いますが、お陰で大変有意義な時間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

<栄養士>

- ・人と向き合う場面、命と向き合う場面に多く携わらせていただいている分、まずは自分たちが本質を理解し実践していく必要があると感じだから。
- ・栄養士という職種で、できるだけ口から食事を召し上がっていただきたいと常日頃から感じています。ただ、それを望まない利用者様がいらっしゃることも事実、介助が必要な方が多くなれば現場も手が回らないため、胃瘻などの人が入って来てくれたら…などの声を聞くこともあります。利用者様や家族に寄り添うとは？と、介護現場に入ってみて自問することも多くなりました。病院のように疾病治癒のための食事でもなく、病気にかからないための予防という食事とも少し違う、ある意味特殊な環境の中で何を目的として専門性を活かすのか、これからいろいろと学んで現場で迷いながら考えていこうと感じました。この度は貴重な気づき、そして話しありがとうございました。

<社会福祉士>

- ・知ってるようで実際は深く知れていなかったACPIについて学ぶことが出来ました。

<未記載>

- ・もしもノートの活用や聞き取りのタイミングなど勉強になりました。

【教育機関】

<学生>

- ・ACPIは授業で簡単に説明を受けていただけなので、今回をきっかけに深く学ぶことができました。また、「もしもノート」では実際に活用できる機会が少ないため、家族の中で話し合える時間を作って考えてみたいと思います。

【その他】

<保健師>

- ・ACPIについての理解を深める機会になりました。多職種、色々な機関の立場での支援状況も知ることができたのでとても参考になりました。
- ・川口先生のお話しはとても勉強になりました。もう少しゆっくり深く聞きたかったです。

<救急隊員>

- ・普段知ることのない救急活動以外のことなので、とても新鮮で勉強になりました。
- ・今後も勉強会に参加させてください。

<未記載>

- ・ACP、もしもノート初めて知る事ができ、知る事で始められる事、考え方が変わる事、関りができる事が良かった。
- ・多職種の関わる場がもてて色々な話を聞けて良かったです。

【今後どのような内容の研修会を希望されますか？】

【医療機関】

<歯科医師>

- ・このままで十分に共有しながらいけますので、これからも受講しようと思います。

<薬剤師>

- ・緩和ケアの分野での研修を来年の会で希望いたします。
- ・患者さんの自助と公助。
- ・同じような研修。
- ・患者、利用者、ご家族といかに関係していくか、他職種の視点で学んで行きたいと考えます。
- ・何とない浮かびませんが、ACPのような、医療も介護にも共通なテーマが良いです。

<看護師>

- ・DNAR、救急車での患者さん、家族との関わり方、具体策など実際の場面を振り返りの場がほしいです。
- ・病院の医師が参加できるもの。
- ・事例検討。
- ・医療介護トリプル改定のその後の市内の状況について。
- ・その方が希望する場所、どこでも看取ることが可能になるような体制作りについて。病院、施設、在宅医療、介護など、地域および所属場所で温度差があるような気がします。医療用麻薬、CVポートの管理が困難で難しいなど。制度上の問題、マンパワーなど、様々な課題がある背景があると思いますので、具体的に地域で改善に向けての取り組みについて検討したいと思いました。

- ・ 事例をもっと聞きたいです。
- ・ 看取りの勉強会や他部署との連携について勉強したい(専門職として)

<相談員>

- ・ ぜひ、グループワークを取り入れていただきたいです。

<栄養士>

- ・ 多職種連携。

【介護機関】

<ケアマネジャー>

- ・ 介護の新しい情報研修を希望します。(介護にまつわる)
- ・ ACPをもっと詳しく。
- ・ 講演会等, 医師の話等。
- ・ グループワークがあると楽しい。距離が近くなる。
- ・ 医療・介護・その在宅生活を支えてもらっている他機関の想いを知る研修がよいのでは？(例えば薬局)
- ・ 家族等の関係について。
- ・ 40.50台の方の事例やダブルケア, 子供の発達障害の支援などの取り組み。
- ・ 同様の形式で, 日頃の支援に役立つ内容であれば何でも。
- ・ 同じ研修を受けても, 職種や立場に寄って得るものや感じるものが違うんだろうと思います。今回のように, 講演の後にそれぞれで感じた事や今後の連携に必要な工夫について話が出来ればいいと思います。

<相談員>

- ・ 医療・介護の垣根をなくすための取り組みであればどんなことでも良いかと。
- ・ 外国人実習生が多いので, 悩みの共有。
- ・ 医療機関で入院継続が難しい, かと言って自宅も難しい, という状況はよくあると思います。年々, 受け入れ相談も年代や既往, 背景, 多様になってきている実感があり, 実際これから, いわゆる高齢者施設はどこまでの医療提供が求められているのかを知りたいです。
- ・ とても参考になるお話をありがとうございました。
- ・ サマリーの書き方, サイ五郎さんの人生会議のワーク。

<鍼灸マッサージ>

- ・ 考えられるような, 今回のような研修会を希望します。

<介護職員>

- ・ 施設のACP, 事例をもとに取り組んでいる話を聞きたいです。
- ・ 高齢者虐待や倫理など。
- ・ 事例など聞きたいです。
- ・ 排便コントロール, 認知症と薬, 精神薬について。
- ・ 薬剤師さんの在宅への介入方法とか, 介護施設や在宅への訪問診療のつなげかた。
- ・ 他職種との連携について。
- ・ 今は具体的にありませんが, 今後も研修会が継続することを期待しています。

<保健師>

- ・ 認知症支援, 意志決定支援(特に身寄りがない方の支援)

<看護師>

- ・ 適切な情報共有の仕方(はこだて医療・介護連携サマリー使用)病院・施設・自宅等で何の情報が必要なのか何が重要とされるのかを知りたい。
- ・ 緩和ケアについて。
- ・ 今回のような内容を深めるようなもの。
- ・ 緩和, 終末期等。

<管理者>

- ・ 意思決定支援について学びを深めたい。

<栄養士>

- ・ 介護、医療の連携について、医療現場と介護現場の両方の立場を理解できるような研修や、他職種が一つの事例をそれぞれの視点でみるとどんな事を感じるのかを知ることができればと思います。

<社会福祉士>

- ・ 連携を図って対応出来た事例について、医療職だけではなく介護、ケアマネジャーからの振り返りにもフォーカスを当てた研修も聞いてみたいです。

<未記載>

- ・ 講義の中でもでていたグリーフケアについても勉強したいです。

【その他】

<消防>

- ・ 救急隊と施設との連携について。

【その他、ご意見・ご質問がございましたらご記入ください。】

【医療機関】

<鍼灸マッサージ>

- ・ 認知症の方への聞き取りはどの程度有効なのか？

【介護機関】

<介護職員>

- ・ 再確認するタイミングはいつか？

<看護師>

- ・ 今回の研修でACPの内容共有として、応用ツール18があることを知った。普段は基本ツールメインでの使用ばかりだったので活用できると良いと思ったが、実際応用ツール18を使用して医療機関などで役立てられてる事例はどの程度なのかお聞きしたい。